

設立趣旨書

1 趣旨

近年、発達特性、不登校、引きこもり等の課題を抱える子ども・若者及びその家族は増加傾向にあり、その背景も多様化している。幼児期に発見される軽度発達障害から、学齢期の不登校、さらに青年期・成人期における社会的孤立やいわゆる 8050 問題に至るまで、支援を必要とする対象は広範にわたっている。しかしながら、現行の支援体制においては、相談先が複数の機関に分散しているため、支援を求める本人や家族が各機関を個別に訪問しなければならない、結果として必要な支援につながらない、いわゆる「たらい回し」の状況も見られている。また、支援機関ごとに対象年齢や支援内容が限定されているため、継続的な支援が途切れてしまうケースも見受けられる。

このような課題を解決するためには、相談段階から社会参加に至るまで一貫して支援を行い、必要に応じて医療・福祉・教育機関等と連携しながら適切な支援につなげる体制、すなわちワンストップ型の支援体制の構築が必要である。

本法人の設立者らは、これまで教育現場において、不登校や進路に課題を抱える生徒及びその保護者に対する相談支援を行ってきた。その中で、卒業後も支援を必要とするケースや、大学等に進学した後に適応困難となるケースに対して、関係機関との調整や合理的配慮の申請支援等を継続的に行ってきた実績がある。そこで、これまでの実践を基盤とし、対象を幼児期から成人期まで広げ、相談支援、社会参加支援、継続支援及び関係機関との連携・調整支援を総合的に行う特定非営利活動法人を設立することとした。

本法人は、営利を目的とせず、誰もが安心して相談できる場を提供するとともに、支援を必要とする人々が孤立することなく地域社会の中で自立した生活を送ることができるよう支援することにより、福祉の増進及び社会全体の利益に寄与することを目的とするものである。

よって、ここに特定非営利活動法人の設立を申請するものである。

2 申請に至るまでの経過

令和 8 年 1 月 16 日	法人設立のための準備会発足
令和 8 年 4 月 14 日	設立準備会の開催
令和 8 年 7 月 10 日	設立総会の開催

令和 8 年 7 月 10 日

特定非営利活動法人 OneStop 支援センター
設立代表者 氏名 菊地 直保